

賑わいと魅力があり、伝統と未来が響き合うまち 経済活動の持続的発展と安定した雇用の



施策の目標

市内中小企業の経営基盤の強化と先進技術の導入による生産性の向上を推進し、市産品のブランド化や販売促進に力を注ぐことで、市内産業の経済活動を活性化します。

施策の概要

先進技術導入等に対する制度融資の充実や創業支援、就労環境の向上に取り組むとともに、市産品を積極的に市内外にPRし、販路拡大を支援することで市内経済の好循環と雇用を創出し、伝統産業や多様な産業の持続的発展を図ります。

現状と課題

単位施策の目標

単位施策① 企業経営の 強化支援

- ・経済状況が大きく変化する中、中小企業・小規模事業者の経営基盤の強化、生産性の向上や設備投資のため、経済的支援、ネットワークづくり等、多岐にわたる支援が求められています。
- ・地域経済の持続的発展のため、市内企業の市産品の活用を促進するとともに、市内外への販路拡大の支援を継続していく必要があります。

- ・市内事業者への経済的支援、設備投資、IT人材や起業家の育成等ニーズに合った多様な支援の実施により経営基盤を強化することで、地域経済の活性化及び好循環をめざします。
- ・製品、技術、サービスの存在を広くPRすることで、川口ブランドの認知度を向上させ、新たな企業間交流を通じてビジネスネットワークの拡大を図ります。

単位施策② 就労環境の 向上

- ・市内中小企業の人材不足が深刻化する中、労働力の確保が課題です。また、就労後の定着率も低いことから、労働者が安心して長く働くことのできる就労環境を整える必要があります。

- ・就職支援セミナーやマッチングの機会を設けることにより、市内中小企業の雇用の確保を図ります。
- ・若年者の就労の定着率を上げることにより、市内企業の成長および市内産業の活性化をめざします。

確保

施策の目標指標

	基準値(R5)	中間目標(R12)	最終目標(R17)
この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]	29.6	現状値を上回る	R12実績値を上回る
就職支援セミナー参加者数 [人]	354	380	400
市内総生産額 [百万円]	1,426,594 (R3)	県内市町村における伸び率を上回る	県内市町村における伸び率を上回る

主な取り組み

- ・低金利での制度融資の実施や市内事業者のDXを支援し、経営基盤の安定と生産性の向上を促進します。
- ・起業を支援するため、セミナーや個別相談等を実施するとともに、起業家同士のネットワークづくりを促進します。
- ・市産品を積極的に市内外にPRし、産業の活性化を図ります。
- ・市が発注する公共工事において、市産品活用を促進する川口市産品公共工事活用促進制度に取り組めます。

施策1 経済活動の持続的発展と安定した雇用の確保

賑わいと魅力があり、伝統と未来が響き合うまち ものづくり産業を活かした新たな価値の創出



施策の目標

卓越した技術・技能者を有する歴史あるものづくり産業のさらなる振興により、持続可能な地域経済の発展をめざし、企業間交流や異業種交流を通じて、伝統と技術が融合した新たな価値の創出を図ります。

施策の概要

市内の卓越した技術・技能者の顕彰や製造事業者等の市内への誘致を促すなど、伝統技術を活かしつつ、持続可能な産業構造の醸成、地域経済の安定と活性化を促すとともに、市産品の販路拡大事業等を通じた異業種交流による新たな価値創出を促進します。

施策の目標指標

	基準値(R5)	中間目標(R12)	最終目標(R17)
この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]	36.4	現状値を上回る	R12実績値を上回る
就業者数(製造業) [人]	22,319	22,319	22,319
製造品出荷額 [百万円]	547,847	550,000	555,000

主な取り組み

- 技術力の維持強化や、市産品のPRとともに、販路拡大の支援や補助を行い、市内企業の競争力を高め、ものづくり産業の振興を図ります。
- 市産品の販路拡大事業等による企業および製品技術のPRや企業間交流を促すとともに、ビジネスマッチング等を通じて新たな価値の創出を促進することで市内企業の競争力を高めます。
- ものづくり産業のDXを支援し、業務効率化とともに生産性の向上を促進します。

施策2 ものづくり産業を活かした新たな価値の創出

現状と課題

単位施策の目標

単位施策① ものづくり産業のさらなる振興

- 伝統産業における事業所数の減少が深刻化する中、企業の市場競争力の強化が課題となっています。
- エネルギーや原材料の価格高騰により製造コストが増大し、企業の利益率が圧迫され、事業の持続可能性の低下が危ぶまれています。

- 市産品の販路拡大と業務効率化による生産性向上によりコスト高を上回る利益率を確保して市内企業の競争力を高め、市内経済の好循環を生み出すことで、持続可能な事業遂行と産業の活性化を図ります。

- 技術力の維持強化や、市産品のPRとともに、販路拡大の支援や補助を行い、市内企業の競争力を高め、ものづくり産業の振興を図ります。
- 市産品の販路拡大事業等による企業および製品技術のPRや企業間交流を促すとともに、ビジネスマッチング等を通じて新たな価値の創出を促進することで市内企業の競争力を高めます。
- ものづくり産業のDXを支援し、業務効率化とともに生産性の向上を促進します。

単位施策② 担い手の育成と技術の振興

- 市内製造業における技術・技能を継承する人材の不足が深刻化する中、後継者の育成が課題となっています。

- 卓越した技術・技能者を顕彰することで、社会的地位の向上を図るとともに、後継者を確保・育成し、市内製造業の活性化と技術の振興を図ります。
- ものづくりイベントを通じて、多くの市民が職人と接することで高度な技術を感じるとともに、ものづくりの楽しさを体験することで、伝統的な技術・技能を尊重し、継承するまちづくりをめざします。

- 本市産業界における卓越した技術・技能者を顕彰します。
- 伝統的な技術・技能への理解を深めてもらうため、高い技術を持つ職人が集まり、未来を担うことをはじめとして、年代を問わず多くの人が参加でき、職人の高度な技術を直接感じるとともに、ものづくりの楽しさを体験できる教室を実施します。
- 技術の向上を図るために鋳物技術講習会を開催し、鋳物工業技術の向上と知識の習得を図ります。

単位施策③ 企業立地及び業務拡張等の支援

- 東京都と隣接し交通の利便性において優位である一方、地価が高く、市外企業の進出需要に応えられる事業用地の確保が課題となっています。

- 産業の空洞化防止、雇用機会の拡大、工場進出による既存企業への様々な波及効果を通じた市内経済の活性化を図ります。

- 市内企業の新規事業及び事業拡張等を支援するとともに、市外企業の市内への進出を促進するための補助を行います。
- 民間事業者の事業用土地等需要に応えるため、民間団体と連携し、事業者の立地促進を図ります。
- 工場跡地の住宅地化等が進んでいる現状を踏まえ、その跡地を再び工場用地として活用するため、積極的に工場の誘致を推進します。

川口市市産品フェア



ものづくり体験教室



関連する個別計画
川口市産業振興指針

賑わいと魅力があり、伝統と未来が響き合うまち にぎわいと魅力ある商業の振興



施策の目標

この街で買い物を楽しみたいと思える賑わいのある商業環境づくりと、地域とともに歩む活気ある商店街づくりをめざし、商業の振興を図ります。

施策の概要

多様化する消費者ニーズに応えるため、地域や個店の特性を活かした買物環境の創出や、地域コミュニティの中核を担う、魅力ある商店街づくりを支援することで、地域経済の好循環を創出します。

施策の目標指標

	基準値(R5)	中間目標(R12)	最終目標(R17)
この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]	64.4	現状値を上回る	R12実績値を上回る
従業者数(卸売業・小売業) [人]	29,511 (R3)	全国における伸び率を上回る	全国における伸び率を上回る
年間商品販売額 [百万円]	1,015,680 (R3)	全国における伸び率を上回る	全国における伸び率を上回る

現状と課題

・商店街は、来街者の減少、空き店舗の増加、店主の高齢化、後継者不足等、さまざまな課題に直面しています。また、ライフスタイルの変化による消費者ニーズの多様化や郊外型商業施設の出店等により地域商業をめぐる環境が大きく変化しています。

期待する成果

・商店街が地域住民のインフラとして機能するとともに、地域の賑わい創出や街の安全・安心を守る機能を果たす等、地域コミュニティの中核的役割を担う商業環境の創出をめざします。

主な取り組み

・大型店と共存を図りながら、住民のニーズに応じた多様な商品やサービスを提供し、地域の特性や個店の魅力を活かした商店街づくりを支援します。
 ・地域コミュニティの中心的存在として、地域の連帯感や社会的な繋がりを醸成し、地域の暮らしを支える商店街の魅力づくりを支援します。
 ・商店街の空き店舗対策や調和のとれた景観づくりを支援します。
 ・店舗ならではのサービスの提供や顧客とのコミュニケーションなどを活かした買い物を楽しめる環境づくりを支援します。

単位施策①
にぎわいと活気ある商業活動の振興

単位施策②
魅力ある商業環境の創出

・大型ショッピングモール等の出店、急速に進むキャッシュレス化を含むDXをはじめとした購買機会の多様化やインターネットショッピングの拡大は、消費者の利便性が高まる一方、個店の来訪者に影響を及ぼしており、店舗外の消費行動を加速させています。

・市内経済の好循環を創出するため、大型店と中小事業者が共存できる環境を実現し、魅力ある商業空間を推進することにより、市内での購買意欲を醸成するとともに、官民が一体となった地域経済の活性化をめざします。

・市内商業事業者への包括的な支援として、地域経済の活性化を推進します。
 ・個店の魅力を高め、店舗の集客力や買物環境を向上させる取り組みを支援します。
 ・事業者が消費者ニーズを的確に捉え、販路拡大や経営環境の向上をめざした取り組みを支援します。
 ・DXに対応した販売形態等のスキルを習得し、実店舗と連携・併用する取り組みを支援します。

施策3 にぎわいと魅力ある商業の振興

商業に関連する数値の推移

資料:商業統計調査、経済センサス-活動調査

川口市	平成14年	平成16年	令和19年	平成26年	平成28年	令和3年
事業所数(箇所)	5,195	4,720	4,614	3,241	3,388	2,924
従業者数(人)	37,271	35,434	35,217	26,913	30,842	29,511
年間商品販売額(百万円)	1,135,468	1,016,082	1,028,704	1,051,832	1,122,968	1,015,680

※平成26年に日本標準産業分類の第12回改定があり、調査設計の大幅変更が行われました。

川口芝川鯉のぼり祭り



自然ふれあい祭り



川口桜まつり



関連する個別計画
川口市産業振興指針

賑わいと魅力があり、伝統と未来が響き合うまち 未来ある都市農業の振興



施策の目標

農地の保全を推進するとともに歴史と伝統を誇る植木を中心とする花きに加え、野菜・果樹といった本市の農産物(生産地)のブランド力向上と販路拡大を図り、都市農業の振興につなげることをめざします。

施策の概要

- ・川口緑化センター、農業協同組合及び市内農業団体などと連携して都市農業の振興を図るとともに、グリーンセンター等において緑に親しむ機会を増やします。
- ・都市化による農地の減少を抑えるために遊休農地の活用を推進し、都市農地の保全を図ります。

施策の目標指標

	基準値(R5)	中間目標(R12)	最終目標(R17)
この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]	47.4	現状値を上回る	R12 実績値を上回る
市内総生産額(農業) [百万円]	716 (R3)	県内市町村における伸び率を上回る	県内市町村における伸び率を上回る
農地バンクを活用した農地の賃貸借面積 [㎡]	3,510	2,500	2,500

主な取り組み

- ・農業経営の安定・向上のため、川口産農産物の販路拡大を図るとともに、担い手の確保に向けて、後継者・新規就農者の育成支援を行います。
- ・グリーンセンターにおいては、身近な緑化の意識を啓発する教室や、植物や生き物などと触れ合える場を提供し、エンターテインメント要素を盛り込んだイベントや展示手法など、すべての人に楽しく、わかりやすく植物の魅力を伝えることで、利用者の興味や関心を高めていきます。

現状と課題

- ・伝統的な植木を中心とする花きに加え、野菜・果樹など多様な農産物を生産しています。
- ・農業者の高齢化や担い手不足による、出荷量の減少が課題となっています。
- ・グリーンセンターにおいては、昭和42年に開園した施設の老朽化対策のほか、社会状況の変化に対応するため、利用者のニーズを把握し、更なる集客力の向上を図ることが課題となっています。

単位施策の目標

- ・農業者の経営力の強化や担い手の確保を通して、本市農業が有する歴史ある技術や技能、品種などの普及宣伝を図り、新たな顧客やニーズの開拓により販路を拡大し、都市農業の振興を図ります。
- ・グリーンセンターは、市内緑化産業に関わる卓越した技術や人材を積極的に活用し、高いサービスを発信・提供するとともに、イベントや展示などを効果的かつ効率的に計画し、更なる集客力の向上を図ります。

単位施策① 都市農業の振興

単位施策② 都市農地の保全

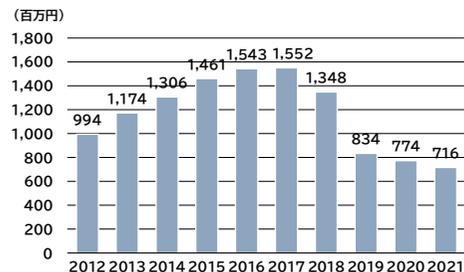
- ・本市は東京都に隣接し、都市化の進行が顕著であることから、農地が減少する傾向にあります。しかし、都市農地には地産地消や景観形成など多様な機能が期待されており、農地の減少に歯止めをかけることが喫緊の課題となっています。

- ・持続的な農地の保全により、農産物を供給する機能をはじめ、良好な景観の形成、学習や交流の場の提供など多様な機能を有する財産である農地を次世代につないでいくことをめざします。

- ・遊休農地の発生防止・解消のため、農地バンク制度の周知を図ります。
- ・遊休農地の情報を市でデータ化し管理することで、農地バンクの活用を図ります。
- ・生産緑地法等の改正に関する情報提供や賃借の促進等、生産緑地の適正な保全と円滑な活用を図ります。
- ・市民へのレクリエーションの場や農業への理解促進につながる市民農園等の開設・運営支援を行い、農地の保全と活用を図ります。

施策4
未来ある都市農業の振興

市内総生産額(農業)の推移



関連する個別計画
第2次川口市農業基本計画(川口市都市農業振興計画)



施策の目標

本市の特徴ある多種多様な魅力と誇りを育み、市内外に発信し、地域資源を活用した観光振興に取り組み、地域経済の活性化を促し、魅力ある訪れたいまち、さらなる選ばれるまちの実現をめざします。

施策の概要

誇れる文化や産業・自然、暮らしやすさ・住みやすさなどの地域の魅力を、関係団体と連携を図りながら市内外へアピールし、多くの人が本市の魅力を知り、来訪と定住による地域経済の活性化を実現できる環境を整えます。

施策の目標指標

	基準値(R5)	中間目標(R12)	最終目標(R17)
この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]	31.9	現状値を上回る	R12実績値を上回る
記者会見・記者懇談会資料提供件数 [件]	32	40	40
官民連携地域情報ウェブサイト「トリコカワグチ」PV数 [回]	51,023	152,700	245,600

主な取り組み

- ・東京都と隣接した立地の良さや生活のしやすさに加え、日光御成道や赤山陣屋跡等の歴史的資源、豊かな自然環境とのふれあいの場、特色ある産業等を活かして、広く「川口市」をPRし、知名度やイメージを向上させます。
- ・豊かな自然や文化芸術等の地域資源の活用による、魅力向上を図り、官民連携地域情報ウェブサイト「トリコカワグチ」やSNS等により市内外に向けた効果的な発信を行うことで、市民の「川口市」への愛着を高めるとともに、本市のイメージ・知名度の向上及び交流人口・定住人口の増加を促進します。

現状と課題

- ・東京近郊における都市間競争力を高めるため、効果的な広報活動や、魅力ある地域資源の発掘、創出が課題となっています。
- ・ものづくりや植木産業と合わせて、本市の魅力を形成している豊かな自然や地域に根差した文化芸術等の地域資源を、本市の魅力として発信し、集客や交流、イメージやブランド力の向上等に活かしていくための戦略が求められています。

単位施策の目標

- ・さまざまなシティブロモーション活動を通じて、本市のイメージ、知名度を向上させることで、交流人口・定住人口の増加や、地域経済の活性化を図ります。
- ・地域資源を活用した情報発信により、市民が日常的に本市の魅力を感じながら生活することで地域愛の醸成を図ります。

単位施策①
地域資源を活用したシティブロモーションの実施

単位施策②
SKIPシティを活用した地域の活性化

- ・SKIPシティは、映像産業を核とした次世代産業の導入・集積を目的に平成15年にオープンし、映像産業に関わる取り組みも定着しています。
- ・令和6年に商業施設がオープンしたほか、大型撮影スタジオであるNHK川口施設(仮称)の整備が進められています。
- ・更なる地域経済の活性化と交通ネットワークの構築が課題です。

- ・映像産業を核とした次世代産業の導入・集積により、地域経済の競争力を高め、持続可能な地域社会の形成をめざします。
- ・SKIPシティで開催される各種イベントやNHK川口施設(仮称)等周辺施設の利用促進により、多様な人々が訪れ、賑わいが生まれ、本市の認知度が向上するといった、地域経済の相乗的な発展を図ります。

- ・さまざまな映像コンテンツに関する産業創出をめざし、映像産業を核とした次世代産業の導入・集積に取り組みます。
- ・周辺の住環境と調和のとれた整備を行い、交通ネットワークの改善に取り組みます。
- ・NHK川口施設(仮称)をはじめとする周辺施設と連携し、地域経済活性化に寄与する取り組みを行います。

施策5 地域資源の活用による地域経済の活性化

イナフェスタ



関連する個別計画
川口市産業振興指針